

「情報大航海プロジェクト」について

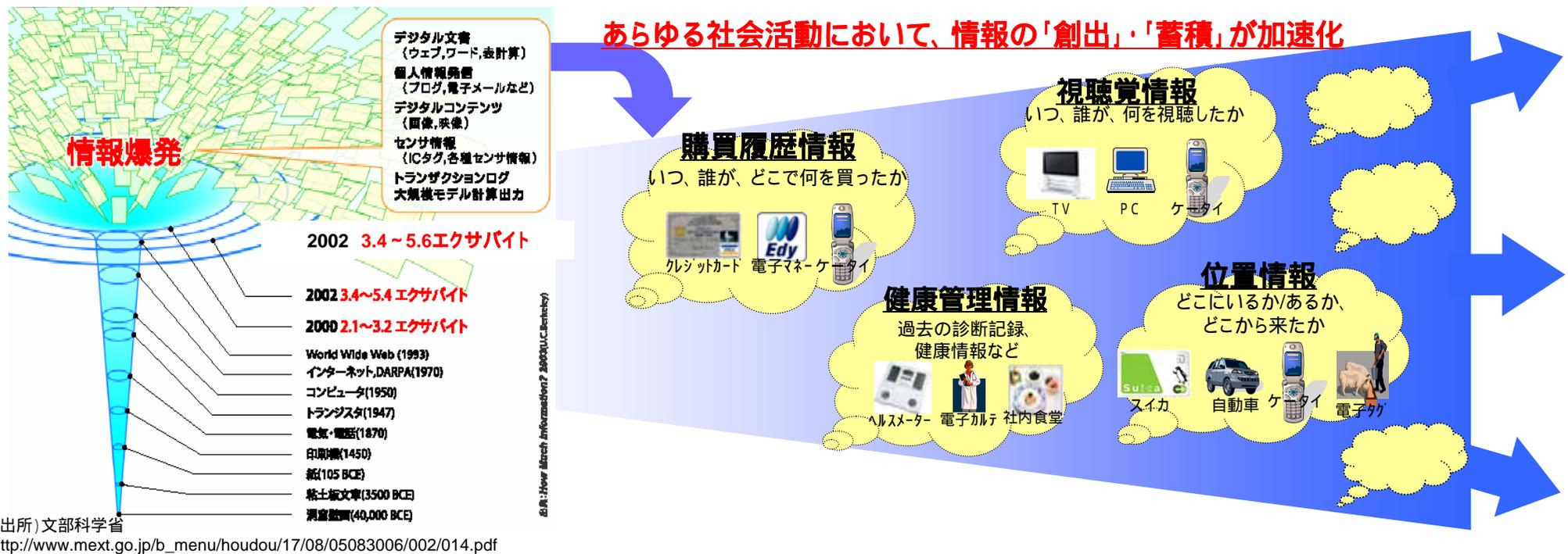
平成19年11月9日
経済産業省商務情報政策局
情報処理振興課

1. 情報大航海プロジェクトの背景、問題意識

近年、世界中において、情報量の「大爆発」が起こっており、社会活動のあらゆる場面において、情報の「創出」・「蓄積」が起こっている。

・2002年には5エクサバイト(エクサバイトは 10^{18} バイト、1ギガの10億倍)の情報が人類によって産出。

今後、更なるIT化の進展に伴い、「創出」・「蓄積」される情報の種類・量は際限なく増加していく一方で、これらを有効に活用し、新たなビジネスやイノベーションの創出に結びつけていくことが出来てない状況。



➤ 大量に蓄積している情報の中から、必要な情報を、どのように見つけ出し、組み合わせ、有効に活用していくかが、我が国の生産性向上・競争力強化の観点において、非常に重要な課題。

2. 「次世代検索・解析技術」について

次世代の検索・解析の方向性

ユーザーの状況を考慮した検索・解析

個々のユーザーの嗜好や置かれた状況に適した検索・解析へ

マルチメディア情報の検索・解析

テキストに加え、画像・映像、音、センサー情報などの検索解析へ

様々な端末を活用した検索・解析

情報家電などの端末によって様々な場面で使われる検索・解析へ

我が国の強み

産業を支えてきた高度な技術の蓄積

社会インフラにおける情報システム、医療における高度なIT技術、情報家電や携帯電話などの端末技術など、これまで我が国産業を支えてきた、世界に優位な技術が存在

優れた情報通信環境と情報の蓄積

世界最先端のブロードバンドネットワーク、様々な端末の普及、情報の蓄積を背景として、IT化の次のステージへと進展する見込み

次世代の検索・解析の方向性と
我が国の強みの一致

我が国が持つ技術・環境の強みを集中させ、次のIT化のステージにおいて、ITが高信頼型社会の構築に貢献していくための「次世代検索・解析技術」

【「次世代検索・解析技術」の構成要素】

サービス連携を実現するプロトコル・基盤技術

ユーザーの要求やニーズに応じて、複数のサービスやコンテンツから適合するものを見つけ出し、連携・提示する技術

マルチメディア情報のリアルタイム処理技術

画像、映像、センサー情報などのマルチメディア情報を即時に処理し活用するための技術

環境・行動情報の統合処理技術

ユーザーの置かれた状況（コンテキスト）や行動パターンをモデル化し、環境情報、行動情報を効率的に蓄積し、活用するための技術

プライバシー情報の安全管理技術

ユーザーに適したサービスを提供するために必要となる機微なプライバシー情報を安全に管理・制御し、利用するための技術

コンテンツ・サービス信頼性評価技術

コンテンツやサービスの信頼度合いやユーザーの要求との適合度（ランキング）を評価し活用する技術

大規模収集・リソース管理技術

大規模なマルチメディア情報を収集し管理する技術

3. 情報大航海プロジェクトの内容・目標

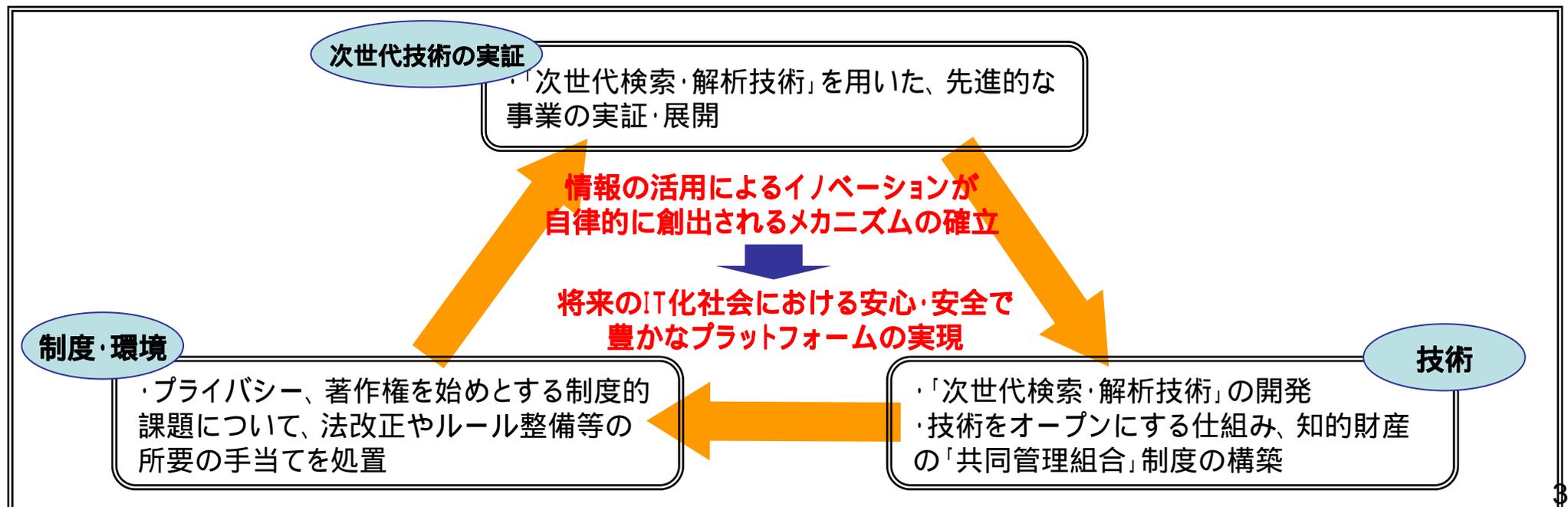
■ 事業内容

多種多様な大量の情報の中から必要な情報を的確に検索・解析するための技術(「次世代検索・解析技術」)を開発・実証することにより、技術の普及・展開を目指す。

合わせて、プライバシー、著作権を始めとする制度的課題について所要の手当てを行い、事業が自律的に展開していくための環境を整備する。

■ 目標

次世代技術に係る事業の成功をトリガーに、「制度・環境」の更なる成熟、「技術」の更なる発展を喚起し、より先進的な公的活動を含む事業への創出へつながるイノベーション創出メカニズムを確立し、将来のIT化社会における安心・安全で豊かなプラットフォームの実現を目指す。



4. 将来のIT化社会におけるプラットフォーム

本プロジェクトにおいては、今後のIT化社会において生じる諸課題を解決し、我々の社会生活を豊かにしていく社会基盤(プラットフォーム)の実現を目指し、これらのプラットフォームにおいて横断的に活用可能な「次世代検索・解析技術」の開発に取り組んでいるところ。

・社会インフラのIT化による新たなソーシャルサービス

- リアルタイム情報も含めた各種情報の統合的に解析することなどにより、各種の社会インフラにおける日常業務段階からのリスク対策、医療情報の活用による高度な医療サービスの提供など、**ITを高度に活用し、より安心・安全な社会を実現する。**

・プライバシーに配慮した未来型パーソナルサービス

- 利用者に関する様々な情報(プロフィール情報、行動履歴情報、等)を、プライバシーを保護しつつ安全に収集・蓄積し、様々なサービスとマッチングさせることにより、**利用者のTPOに合わせた、商品・サービス・情報を、安心・安全に取得できる社会を実現する。**

・新たなコンテンツアクセス技術が産み出す次世代Webサービス

- 画像・映像検索、対話型検索、感性検索などにより、従来のテキストベースでの検索では不可能であった、コンテンツへの直感的なアクセス、あるいは未知のコンテンツへのアクセスなど未来型のコンテンツアクセスを開発することにより、著作権保護、有害情報のフィルタリング等を行いながら、**コンテンツを安心・安全に活用した新たなWebサービスを創出する。**